

# 英語ライティングA Writing A

素養科目 1、2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 林 弘美 (英語・英語学)

授業担当者 A組：須田 篤也、B組：竹内 典子、C組：林 弘美

## ■教育目的 (各クラス共通)

日常的な手紙や E-mail の書き方から論文の構成まで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

## ■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 口語的な英語の表現方法を習得することによって、コミュニケーションができるようにする。
2. 英語の文章の構成を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。

## ■授業内容

### A組 須田 篤也

テキストとして『薬学英語基本用語用例集』を用いる。例文として、薬学関係の用語を用いて口語的な例文が掲載されているので、それらの例文を覚え、用語や表現を学習する。必要に応じて、用語の暗記も課すことになる。授業時に、学習の達成度を確認するためのテストを行う。

テキストとは別にプリント教材を用意し、英文エッセイに見られる幾つかの形式を学び、その論理の展開を理解するための学習を行う。そのうえで、実際に、そうした構成を意識しながら英文エッセイを書く練習をする。

準備学習 (予習・復習)：予習：小テストの準備／復習：授業内容の再確認

成績評価方法：期末試験 (90%)、小テスト (10%) で総合評価する。

教科書：『薬学英語基本用語用例集』 瀬谷 幸男 他 (南雲堂フェニックス)

### B組 竹内 典子

●パラグラフの構成と展開方法を理解し、各展開方法を使って作文の練習をする。

●テキストとプリントを使って、基本動詞・前置詞の意味と使い方に習熟し、ネイティブの発想に近い英語表現の実践を目指す。

●テキストのトピックを読み、内容と文法事項を確認したうえでモデルとして示された表現を用いて、大学生活・クラブ活動・アルバイトなどについて短い英作文を行う。

●各自の個性、生活、人間性を伝えることのできる英語表現を試み、自己紹介、留学や就職などにおける自己アピール文を英語で書く。英文手紙、英文履歴書、英文のメールの書き方を学ぶ。

●パラグラフの展開方法に基づいて、各自興味のある事柄・人物・時事問題等について説明し、賛否を述べる英文を書く。これらをセメスターを通しての課題とし、英文ワープロの基本にならって、パソコンで仕上げる。

準備学習 (予習・復習)：予習：授業予定の章の英文を読み、分からない単語を辞書などで調べる。練習問題の英作文を考え書いておく。／復習：勉強した章をもう一度読み、英作文を見直し文法を確認する。

成績評価方法：期末試験 (50%)、レポート (40%)、小英作文 (10%) で総合評価する。

教科書：『Read Better to Write Better』 富岡 龍明 他 著 (金星堂)

### C組 林 弘美

下記テキストにより、英文におけるパラグラフの構造を理解し、より良いパラグラフ構成を備えた英文エッセイを作成することを目指す。併せて、英語の文法事項・語法を確認し、また語構成について学ぶことにより語彙力の増強にもつなげていく。(テキスト最後の2章分ではプレゼンテーションにも取り組むことになっている。ライティングの授業であるため、授業内にプレゼンテーションを行うわけではないが、プレゼンテーションの手法を学ぶことにより効果的な英文作成につなげることを目指す。)

毎回、授業の前半では、テキストに基づいた学習を行う。授業の後半では、英文エッセイに関する課題に取り組み、授業時間内、あるいは、翌週までにその課題を提出することを求める。(この課題は、添削した上で、翌週に返却する。)

さらに、学期の後半に向けて、4段落以上から構成される英文エッセイを、パソコンで英文ワープロソフトを使用して作成することを求める。そのため、各自が適切にパソコンを使用できるかどうか確認し、必要があれば授業にノートパソコンを持参してもらうことにする。また、英文エッセイのテーマとしては、指定する場合と各自に自由に考えてもらう場合がある。各学生の主体的な取り組みを望む。

準備学習 (予習・復習)：予習：テキストに関しては予習は必要ないが、学期中に1度、また、期末試験として、計2回、英文エッセイを作成することを課題とする。英文エッセイのアウトラインの作成、及び、エッセイ本文の作成と推敲は各自が授業時以外に行うことになる。／復習：添削された課題やエッセイを見直し、自分の英文の特徴を認識することでより良い英文作成を目指すようにする。

成績評価方法：期末試験 (70%)、レポート (30%) で総合評価する。

教科書：『Genre Approach to Paragraph Writing』 杉田 由仁・Richard R. Caraker 著 (成美堂)

参考書：『要点明解アルファ英文法』 (研究社)